



平成28年4月23日～24日

# キッズキャンプ

## 愛川ふれあいの村

### 4月23日(土) 1日目

暖かい陽気の中、キッズキャンプを行いました。はじまりのつどいが始まる前から、元気な声がホールに響きます。はじまりのつどいを終え、保護者の方に「いってきます」をします。最初の関門は、ロッジへの移動です。約束を守って、一人ひとりが周りに手を借りずに、小さな体で大きな荷物を、宿泊するロッジまで運びます。



ロッジに荷物を置き、広場に出てレクリエーションをしました。広場に散った各班のスタッフの居るところまで、どの班が一番早く集合できるかの競争や手遊びをして楽しめます。遊んだあとはお待ちかねお弁当の時間。「いただきます」の音があちこちから聞こえてきます。食べながら、キャンプ中に呼ばれたい名前を考えます。



お弁当を食べたら、キッズキャンプ専用の木の名札を作ります。紙やすりをかけて、名札をすべすべにします。紙やすりをかけている子どもたちに話かけると「見て！すべすべだよ！」と声を大にして教えてくれます。中には、すべすべになった名札が気持ちよかったのか、頬ずりしている子までいました。すべすべにした後は、表には名前を書いたり、裏には絵を描いたり個性的な名札が次々と出来上がりました。



名札を作った後は、食材ゲットラリー！5つのポイントに設置してある問題を解決し、明日のアウトドアクッキングで使う、「春野菜」を手に入れるためのポイントラリーをします。子どもたちに「匂ってなんだかわかる？」と聞くと、「その季節に一番おいしいもの」と的確に答えを言ってくれる子もいました。食材ゲットラリーをしながら春を探します。子どもたちはどんな「春」を見つけてくるのでしょうか。班ごとに行くポイントを決めて、いざ、しゅっぱーつ！子どもたちは、ゲットラリーの中で「たんぼぼ」、「桜」などたくさんの春を見つけました。どの班もすべての食材をゲットすることができ、明日どんなカレーができるか楽しみです。



夕ご飯の後は、ナイトアクティビティの「くせもの」です。班のみんなで手をつなぎ、宝を守る番人に見つからないように暗闇の中にある宝を探します。番人に見つからないようにするためには、班全員で手をつなぎ、腰を低くして、音を出さないように、そろりそろりと足音を忍ばせます。宝が取れると暗闇に「とったぞー」という声が響きました。宝を取った班は、なぜうまく宝を取れたかをみんなに教えてくれます。くせもので、「暗い、怖い」と思う子も居た様ですが、最後はみんな「楽しかった！」と声をそろえていました。くせもの後は、お風呂に入って、ロッジに戻り今日の感想を班のみんなに伝えて「おやすみなさい」。



## 4月24日(日) 2日目

2日目の朝は雨模様でしたが、子どもたちは昨日の疲れも感じさせないほどの「おはよう」という元気な声が聞こえてきました。起きたら自分たちが使ったシーツをたたみます。一人ではたためない子も部屋の友達と協力してシーツをたたみます。何回シーツを折りたたんだか声を出しながら数える姿が印象的でした。



シーツをたたんだ後は、朝ご飯！朝ご飯を食べてみんな満足げな顔でした。ロッジに戻って大掃除。朝くじびきで決めた掃除場所を班で協力して掃除をします。だんだんと掃除に夢中になり、自分の掃除する場所以外にも掃除をしてくれる子もいました。掃除を終えたら、準備を整えてアウトドアクッキングにしゅぱーつ！



アウトドアクッキングでは、「春野菜のカレー」と「フルーツポンチ」を作ります。班の中で野菜係と火係に分かれます。火係では、「火はどうやって起きるのか、弱くするときはどうするのか」、自分たちでおいしいカレーを作るためには、どのような火がいいかを考えます。野菜係は、昨日ゲットした食材を確認しながら、おいしいカレーを作るための方法やフルーツポンチに使う缶詰の開け方のコツを聞いて調理開始！缶切りを使うことが初めての子も多くいましたが、上手に缶切りを使える子がうまく缶切りを使えない子に教えてあげている姿はまるで兄弟のようで微笑ましく感じます。カレーができたら班ごとにそろっていただきます。私は、「アスパラが好き」と野菜の名前が飛び交います。「今日のカレーが人生で一番おいしい」と言ってくれる子もいました。



キッズキャンプの2日間を通して、子どもたちは村の春を身体いっぱいに感じ取ることができました。また、火おこしや缶切りと、新しい体験をたくさんすることができました。おうちに帰ってからも五感を使って、その日その日の変化を、感じ取って欲しいなと思います。キッズキャンプで得た経験を活かし、いろいろなことにチャレンジしてください。また、村で会えることを楽しみにしています。(文責：鷲山わっしゅー)